

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 福岡財務支局長

**【提出日】** 平成25年1月15日

**【四半期会計期間】** 第31期第2四半期(自平成24年9月1日至平成24年11月30日)

**【会社名】** 株式会社コスモス薬品

**【英訳名】** COSMOS Pharmaceutical Corporation

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 宇野 正晃

**【本店の所在の場所】** 福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号  
第一福岡ビルS館4階

**【電話番号】** 092 - 433 - 0660 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役経営企画部長 柴田 太

**【最寄りの連絡場所】** 福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号  
第一福岡ビルS館4階

**【電話番号】** 092 - 433 - 0660 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役経営企画部長 柴田 太

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第30期 第2四半期 連結累計期間		第31期 第2四半期 連結累計期間		第30期	
		自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日	自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日	自 平成23年6月1日 至 平成24年5月31日	自 平成23年6月1日 至 平成24年5月31日		
売上高	(百万円)	133,615	159,872	279,021			
経常利益	(百万円)	7,369	8,979	14,517			
四半期(当期)純利益	(百万円)	3,991	5,092	7,737			
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	3,990	5,093	7,738			
純資産額	(百万円)	32,989	41,038	36,380			
総資産額	(百万円)	90,043	108,407	99,469			
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	201.60	257.21	390.78			
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)	36.6	37.9	36.6			
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	4,931	7,687	16,095			
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	4,708	7,984	11,647			
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	2,145	1,766	3,871			
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	16,603	17,037	19,101			

回次		第30期 第2四半期 連結会計期間		第31期 第2四半期 連結会計期間	
		自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日	自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日	自 平成23年9月1日 至 平成24年11月30日	自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	88.21	107.28		

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、財政やエネルギー等の先行きの見えない問題がくすぶり続ける厳しい経営環境となりました。個人消費におきましても、雇用や所得等の将来に対する不安は依然として根強く、消費者の低価格志向はますます強まっております。

このような状況の中、当社グループは消費者にとって「安くて、近くて、便利なドラッグストア」を目指して力を注いでまいりました。また、「良い商品を1円でも安く」というコンセプトのもと、小売業としての競争力強化に努めてまいりました。これにより、既存店売上高は堅調に推移いたしました。

新規出店につきましては、関西地区に4店舗、中国地区に6店舗、四国地区に3店舗、九州地区に12店舗の合計25店舗を開設いたしました。また、3店舗を閉鎖いたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は479店舗となりました。なお、48店舗の棚替・改装を行い、既存店の活性化を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,598億72百万円（前年同四半期比19.7%増）、営業利益は83億12百万円（同21.3%増）、経常利益は89億79百万円（同21.8%増）、四半期純利益は50億92百万円（同27.6%増）となりました。

なお、当社グループは事業区分が単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略してまいります。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,084億7百万円となり、前連結会計年度末に比べて89億38百万円増加いたしました。この主な要因は、有形固定資産が60億45百万円、商品が45億30百万円増加し、現金及び預金が20億63百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は673億69百万円となり、前連結会計年度末に比べて42億80百万円増加いたしました。この主な要因は、買掛金が55億5百万円増加し、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が9億72百万円、未払法人税等が3億54百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は410億38百万円となり、前連結会計年度末に比べて46億57百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、20億63百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には170億37百万円（前年同四半期比2.6%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は76億87百万円（前年同四半期比55.9%増）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益89億20百万円、仕入債務の増加55億5百万円、減価償却費19億27百万円等の増加要因、たな卸資産の増加45億21百万円、法人税等の支払額41億77百万円等の減少要因によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は79億84百万円（前年同四半期比69.6%増）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出77億47百万円、敷金及び保証金の差入による支出2億89百万円等によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は17億66百万円（前年同四半期比17.7%減）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出9億72百万円、配当金の支払額4億35百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出3億58百万円によるものであります。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	59,600,000
計	59,600,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年1月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	20,000,400	20,000,400	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	20,000,400	20,000,400		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年9月1日～ 平成24年11月30日		20,000,400		4,178		4,610

(6) 【大株主の状況】

平成24年11月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
有限会社ヒデフジ	福岡市博多区博多駅東2丁目8-35-204号	6,549	32.74
宇野 之崇	福岡市早良区	2,097	10.48
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	82 DEVONSHIRE ST BOSTON MASSACHUSETTS 02109360582 (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	1,897	9.48
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	765	3.82
宇野 正晃	福岡市博多区	600	2.99
宇野 則子	福岡市博多区	600	2.99
宇野 史泰	福岡市博多区	507	2.53
宇野 慎里子	福岡市博多区	507	2.53
NORTHERN TRUST CO. AVFC RE FIDELITY FUNDS (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT,UK (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	484	2.42
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	P.O. BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A. (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	471	2.35
計		14,480	72.40

(注) 1 当第2四半期会計期間末現在における日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は575千株であります。

2 フィデリティ投信株式会社及びその共同保有者であるエフエムアール エルエルシー (FMR LLC) から平成24年9月4日付(報告義務発生日 平成24年8月28日)で大量保有報告書(変更報告書)の写しの送付があり、以下の株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
フィデリティ投信株式会社	東京都港区虎ノ門4丁目3番1号 城山トラストタワー	33	0.17
エフエムアール エルエルシー (FMR LLC)	82 Devonshire Street, Boston, Massachusetts 02109, USA	2,707	13.54
計		2,740	13.70

3 前事業年度末現在において当社の主要株主であった宇野正晃(当社代表取締役社長)及び主要株主であった宇野則子は、平成24年9月3日付で有限会社ヒデフジに株式を一部譲渡したことにより、当第2四半期会計期間末現在、当社の主要株主ではなくなり、有限会社ヒデフジが新たに主要株主となりました。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 200,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,797,300	197,973	
単元未満株式	普通株式 2,600		1単元(100株)未満株式
発行済株式総数	20,000,400		
総株主の議決権		197,973	

(注) 単元未満株式欄の普通株式には、自己株式97株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年11月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社コスモス薬品	福岡市博多区博多駅東二 丁目10番1号 第一福岡ビルS館4階	200,500		200,500	1.00
計		200,500		200,500	1.00

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年9月1日から平成24年11月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年6月1日から平成24年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,101	17,037
売掛金	24	28
商品	24,088	28,619
貯蔵品	111	102
その他	3,569	3,895
流動資産合計	46,895	49,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,394	29,920
土地	5,227	7,327
その他（純額）	5,199	5,618
有形固定資産合計	36,820	42,866
無形固定資産	785	768
投資その他の資産		
敷金及び保証金	9,577	9,811
建設協力金	3,791	3,691
その他	1,598	1,586
投資その他の資産合計	14,968	15,088
固定資産合計	52,573	58,723
資産合計	99,469	108,407
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	46,081	51,586
1年内返済予定の長期借入金	1,734	1,414
未払法人税等	4,275	3,920
店舗閉鎖損失引当金	46	21
その他	6,086	6,224
流動負債合計	58,223	63,168
固定負債		
長期借入金	1,195	543
退職給付引当金	307	330
資産除去債務	1,272	1,294
その他	2,089	2,032
固定負債合計	4,865	4,200
負債合計	63,089	67,369

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,178	4,178
資本剰余金	4,610	4,610
利益剰余金	27,822	32,480
自己株式	235	235
株主資本合計	36,376	41,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	4
その他の包括利益累計額合計	3	4
純資産合計	36,380	41,038
負債純資産合計	99,469	108,407

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
売上高	133,615	159,872
売上原価	107,687	129,454
売上総利益	25,927	30,418
販売費及び一般管理費	19,073	22,105
営業利益	6,854	8,312
営業外収益		
受取利息	54	50
受取手数料	174	205
不動産賃貸料	182	178
固定資産受贈益	69	92
その他	167	276
営業外収益合計	648	803
営業外費用		
支払利息	44	31
不動産賃貸原価	66	57
その他	22	48
営業外費用合計	132	136
経常利益	7,369	8,979
特別損失		
固定資産除却損	21	-
災害による損失	-	5
店舗閉鎖損失	-	32
店舗閉鎖損失引当金繰入額	17	21
特別損失合計	38	59
税金等調整前四半期純利益	7,331	8,920
法人税等	3,339	3,827
少数株主損益調整前四半期純利益	3,991	5,092
四半期純利益	3,991	5,092

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,991	5,092
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	3,990	5,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,990	5,093

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,331	8,920
減価償却費	1,376	1,927
退職給付引当金の増減額（は減少）	22	23
店舗閉鎖損失引当金の増減額（は減少）	15	13
受取利息及び受取配当金	54	51
支払利息	44	31
店舗閉鎖損失	-	32
売上債権の増減額（は増加）	0	4
たな卸資産の増減額（は増加）	3,808	4,521
仕入債務の増減額（は減少）	3,280	5,505
その他	184	45
小計	8,021	11,895
利息及び配当金の受取額	1	0
利息の支払額	44	31
法人税等の支払額	3,046	4,177
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,931	7,687
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	4,393	7,747
建設協力金の支払による支出	11	29
建設協力金の回収による収入	162	167
敷金及び保証金の差入による支出	590	289
敷金及び保証金の回収による収入	43	46
その他	82	131
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,708	7,984
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	1,184	972
ファイナンス・リース債務の返済による支出	267	358
自己株式の取得による支出	0	-
配当金の支払額	692	435
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,145	1,766
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,921	2,063
現金及び現金同等物の期首残高	18,524	19,101
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,603	17,037

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日至平成24年11月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日至平成24年11月30日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
給料及び賞与	7,947百万円	9,466百万円
退職給付費用	31百万円	35百万円
地代家賃	3,760百万円	4,022百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
現金及び預金勘定	16,603百万円	17,037百万円
預入期間が3か月を超える預金等	百万円	百万円
現金及び現金同等物	16,603百万円	17,037百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年8月25日 定時株主総会	普通株式	692	35.00	平成23年5月31日	平成23年8月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年1月11日 取締役会	普通株式	356	18.00	平成23年11月30日	平成24年2月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月24日 定時株主総会	普通株式	435	22.00	平成24年5月31日	平成24年8月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年1月11日 取締役会	普通株式	395	20.00	平成24年11月30日	平成25年2月13日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)

当社グループは医薬品・化粧品等の小売業という単一のセグメントであるため、記載を省略しておりません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)

当社グループは医薬品・化粧品等の小売業という単一のセグメントであるため、記載を省略しておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	201円60銭	257円21銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	3,991	5,092
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	3,991	5,092
普通株式の期中平均株式数(株)	19,799,831	19,799,803

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

平成25年1月11日開催の取締役会において、第31期(平成24年6月1日から平成25年5月31日まで)中間配当について、次のとおり決議いたしました。

配当金の総額 395百万円

1株当たりの金額 20円00銭

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成25年2月13日

(注) 平成24年11月30日現在の株主名簿に記録された株主に対し、支払を行います。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 1月10日

株式会社コスモス薬品  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 馬 場 正 宏 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 寺 田 篤 芳 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社コスモス薬品の平成24年6月1日から平成25年5月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年9月1日から平成24年11月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年6月1日から平成24年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社コスモス薬品及び連結子会社の平成24年11月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。